

なからぎの森 特別号 2023/6/5

発行元：京都府立植物園整備計画の見直しを求める会(通称：なからぎの森の会) 〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2

今年の2月から4月にかけて、「北山エリア開発計画」に係わって、大きな動きがありました。

I 京都府が植物園の「見直し案」を提示 (2月20日「第4回植物園有識者懇話会」)

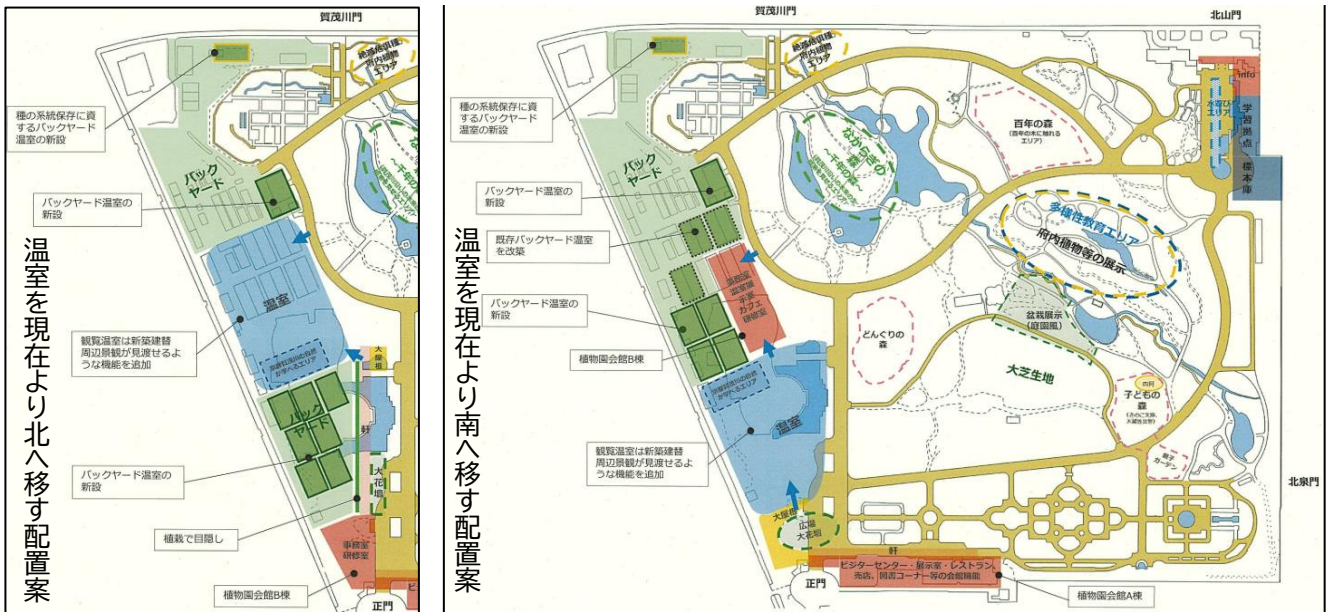
II 学生の意見を反映した案を提示(4月26日「第3回共同体育館(アリーナ)に係る意見聴取会」)

これらの提示は、2年半前、京都府が示した「北山エリア整備基本計画」に比べると、職員の方々の検討や府民の声をかなり反映したものとなっていて、評価できるものです。ただ、IIについては、京都府は「学生ワークショップをまとめた案」と位置付けており、「巨大アリーナ」案が消えたわけではありません。

しかし、この2つの案は今後の運動の大きな足掛かりになるものと、私たちは考えています。

ここに、ニュース『なからぎの森』15, 17号でお知らせした記事を合併、再編集しました。

I 京都府が植物園の「見直し案」を提示：前進と懸念！！



◆ 前進！

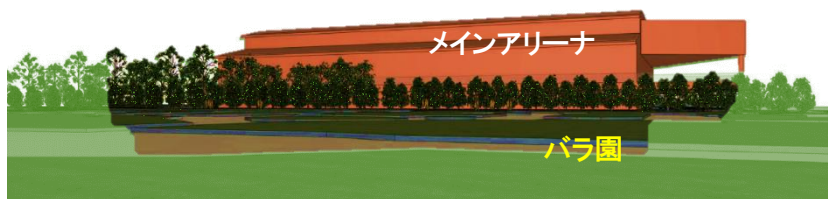
京都府は2月20日に第4回の植物園有識者懇話会をひらき、府立植物園に関する「見直し案」を提示しました。この「案」では2020年12月に提示された「北山エリア整備基本計画」にあった①北山通りや半木の道に沿った垣根や樹木をなくして商業施設を作り、人々の園内への出入口をいくつも作り公園化する案②大芝生広場にイベント用のステージを作る案③バラ園や沈床花壇に「イベント活用広場」を作る案も消されています。また、④バックヤードの面積も維持されるようです。当初の整備計画のイメージ図よりは一定の前進が見られます。これらの前進は、植物園を愛する皆様のご協力により15万筆を超える署名が集まり、植物園を守ろうという世論が高まったこと、有識者の方々のご意見や植物園職員の100周年を迎える植物園の在り方についての検討の努力などが反映されたものとして評価できます。

◆ 懸念！

しかし、この「見直し案」には、いくつかの懸念があります。①あらたな植物園会館の建物が正門から東に大きく

拡大しており、南隣の府立大学内に建てられる計画のアリーナの観客を呼び込む意図が読み取れます。②正門から温室にかけては大屋根が作られて、せっかくの北山を望む景観が台無しになる可能性もあります。③北山門東側に作られる予定の標本庫や、西側に建て替えられる温室も園外に接している建物は「すべて出入り口を作るつもりだ」と府側は説明しています。現在4つある入り口をさらに増やし、回遊性を高めたいようです。④樹木の伐採も心配です。

植物園南側に計画されている共同体育館(アリーナ)
幅100m、高さ20m(場合によってはそれ以上)



◆◆ 大きな懸念！！ ◆◆

- ① 植物園の南隣にある府立大学内に計画されている共同体育館は1万人規模の商業アリーナとされていて、あまりにも巨大です。設計事務所に作ってもらった「アリーナの予想図」(↑)を見ても、北側に広がる植物園のバラ園に大きなダメージを与えられると思われまます。また、このアリーナに出入りするスタッフの車両や観客の動線がどうなるのかも心配です。
- ② 総合資料館跡地に計画されている賑わい施設は5階建てとなっていて、植物園周辺の景観破壊となる心配があります。そもそも京都市の都市計画上では、北山エリアにはアリーナやホテルの建設は許されていないものです。

Ⅱ 「共同体育館」: 学生の意見を反映した案が提示されました

◇4月26日に開催された「第3回共同体育館に係る意見聴取会」で、府立大学学生ワークショップでまとめられた共同体育館の計画図が座長より提示されました。この案が実現されることを期待します。

- ① 第二体育館は耐震基準を満たしているのので、少し改修して使い、南側に向けて増築する。(赤線部分)
- ② 次に、第一体育館を壊して共同体育館を新築する。北側は今の線まで、南側は20mほど伸ばす。(オレンジ線部分)
- ③ 共同体育館の中はバスケットコート3面分。両側2面分は試合時のみせり出す可動席とし、全部で2000席とする。
- ④ 共同体育館の高さはほぼ現在のままなので、植物園への影響はない。
- ⑤ 共同体育館の一部に府民が利用できるコーナーを作る。
- ⑥ 共同体育館建設工事中は第二体育館と仮設体育館を使うので、学生の授業・クラブ活動に支障が出ない。
- ⑦ クラブボックス街は他の場所に移さなくてもよい。



◆◆ 旧総合資料館跡地はどうなる？ 府民の声を出していきましょう ◆◆

去る5月30日、第3回旧総合資料館跡地活用に係る意見聴取会議が開かれましたが、新しい具体案は示されませんでした。「民間活用」や「(昨年11月)ワークショップでの意見」などが強調されていました。

◆◆ 「北山エリア整備基本計画」は全面的に見直しを！！ ◆◆